

## 予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産費 項：農業費 目：農業振興費

**事業名 【新】インバウンド連携型農畜水産物輸出拡大事業費  
(R8分)**

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農產物流通課 輸出戦略係 電話番号：058-272-1111(内4066)

E-mail : c11444@pref.gifu.lg.jp

**1 事 業 費 補正要求額 3,400 千円 (現計予算額： 0 千円)**

**<財源内訳>**

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	3,400	1,700	0	0	0	0	0	0	1,700
決定額	3,400	1,700	0	0	0	0	0	0	1,700

**2 要 求 内 容**

**(1) 要求の趣旨（現状と課題）**

- ・令和6年度に県内を訪れた外国人旅行客数は過去最多であり、岐阜県の食や観光に触れる機会が増加している。
- ・直接岐阜の魅力を体感した旅行者は、帰国後に県産食材の購入意欲が高まると考えられるが、こうした外国人消費者に県産食材を販売する仕組みがない。
- ・また、農業・農村については、農業体験やグリーンツーリズムなど、国内向け旅行者のコンテンツはあるものの、外国人向けコンテンツは少ない状況。
- ・このため、インバウンド需要から輸出拡大に繋がる体制整備が必要である。

**(2) 事業内容**

- ・外国人をターゲットとした提供メニュー、体験プログラムの作成支援
- ・外国人旅行客の増加に向けた魅力発信
- ・帰国後に購入する仕組みづくりに必要な現地調査の実施

### (3) 県負担・補助率の考え方

輸出の拡大を目標に掲げる岐阜県にとって、海外の一般消費者が県産農産物の購入を行うことができる仕組み作りは急務であり、県として実施する必要がある。

### (4) 類似事業の有無

無し

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,400	研修会開催、現地調査、魅力発信等の業務委託
合計	3,400	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）  
第4章 <基本方針3> (2) <新たな海外戦略の展開>

### (2) 国・他県の状況

国において、農林水産物の輸出を2020年までに1兆円、2030年までに5兆円とすることを目指し、国別・品目別輸出戦略を策定するなど、農林水産物の輸出拡大に取り組んでいる。

### (3) 後年度の財政負担

ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）の目標年（令和12年度）まで

### (4) 事業主体及びその妥当性

県産農産物の海外販路の開拓・拡大には県のリーダーシップが不可欠であり、県が実施主体となることは妥当。

# 事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

インバウンド観光客が県内で農畜水産業に係る体験や飲食等、農業・農村の魅力を感じるとともに、帰国後に県産食材を購入する仕組みを構築する。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R6)	R8年度 目標	R9年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
帰国後に購入する仕組みを構築した国・地域	0	3	3	5	0%
		力国	力国	力国	

### ○指標を設定することができない場合の理由

### (これまでの取組内容と成果)

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。  指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	・取組内容と成果を記載してください。  指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	・取組内容と成果を記載してください。  指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

- 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	・国内市場の縮小が見込まれる中、県産農産物の輸出促進及びブランド力向上のため、実施する必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

### (今後の課題)

- 事業が直面する課題や改善が必要な事項

・インバウンド客への認知・定着のため、継続して事業を実施する必要がある

### (次年度の方向性)

- 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
  - 輸出に意欲のある事業実施者は増加しており、要望に応じた支援を実施することで、県内農業等の活性化を図ることができるため、継続することが必要である。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	